

アズリンダ・アズマン教授

アズリンダ・アズマンは、マレーシア・ペナンにあるマレーシア科学大学（Universiti Sains Malaysia）のソーシャルワーク教授です。フルブライト奨学生であり、2005年にニューヨーク大学で臨床ソーシャルワークの博士号（Ph.D.）を取得しました。彼女は国内で最初、そして現在唯一のソーシャルワーク教授です。

国内において、アズリンダ教授はソーシャルワーク教育と実践の推進に積極的に関わっており、マレーシアにおけるソーシャルワークの発展を担う各種委員会に参加しています。多くのNGOでさまざまな役割を担い、重要な貢献をしてきたことから、2021年3月16日、マレーシア女性・家族・社会開発省より「**Social Work Academic ICON**」に選出されました。

地域レベルでは、アズリンダ教授はASEANソーシャルワーク・コンソーシアムに積極的に参加しており、2016年から現在に至るまで、ソーシャルワーク教育と実践に関する知見と専門性をマレーシア代表として提供しています。

国際レベルでは、アジア太平洋ソーシャルワーク教育協会のメンバーであり、また国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）のメンバーでもあります。彼女は国内外の査読付き学術誌、研究書、書籍の章に多数の論文を発表しており、多くの学会で基調講演者として招待され、ソーシャルワーク教育と実践の分野で専門的な知見を提供しています。